

# 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科	科目名	観光DX I		
授業種類	演習	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	酒井智昭		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>本授業では、昨今のITのトレンドに関して、幅広く理解することを目指し、今後のITを牽引するテクノロジーである、DX・IoT・AI・クラウドなどを学習します。一つ一つのテクノロジーを深く理解するのではなく、それらのテクノロジーに関する概要を学び、昨今のITの動向を体系的に理解することを目的としております。また、よく知らないテクノロジーについて、自分自身で調査して解決するための能力を身に着けることも目的としております。</p>				
1	《学習の到達目標》				
	<p>1 ITトレンドのテクノロジーに関して概要を知る</p> <p>2 ITトレンドのテクノロジーの観光コンテンツへの応用を探る</p> <p>3</p> <p>4</p>				
授業計画					
前期			後期		
4月	最新のITトレンド	10月	サーバー仮想化		
	DXとは		ストレージ仮想化		
	DXが生み出す価値		ネットワーク仮想化		
5月	DXの手法と考え方	11月	クラウドコンピューティング		
	DXのまとめ		アジェアイル開発		
	IOTとは。モノのサービス化		DevOps		
6月	IOTを支える技術	12月	システム開発		
	IOTのまとめ		クラウドサービス		
	人工知能、機械学習、ディープラーニング		VR・ビットコイン		
7月	AIの進化	1月	量子コンピュータ		
	AIのまとめ、レポート学習		ブロックチェーン演習①		
	ディープラーニング演習①		ブロックチェーン演習②		
8月	ディープラーニング演習②	2月	ERP		
	ディープラーニング演習③		開発と運用のまとめ		
	ディープラーニング演習④		年間総括		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	教科書 これ1枚でわかる最新ITトレンド 斎藤昌義 技術評論社				
成績評価	<p>授業内の専門用語と各装置やソフトウェア等の役割について8割程度理解できることを到達目標とする。</p> <p>【評価方法】 1.授業態度 20% 2.レポート 40% 3.前期試験と後期試験 40%</p>				
履修上の留意点	常に観光分野への応用方法を考察する授業にしますが、生徒各位もそれについて関心をもって望んで下さい				